

経営比較分析表（令和5年度決算）

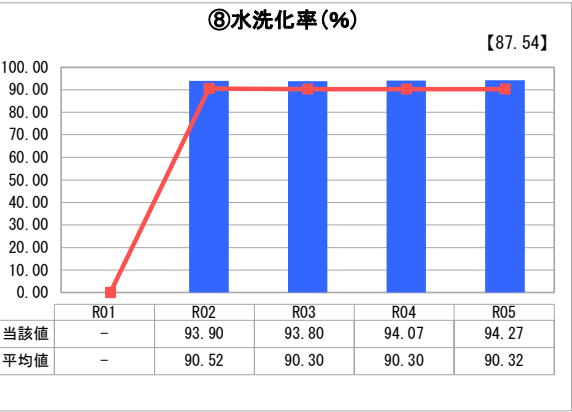
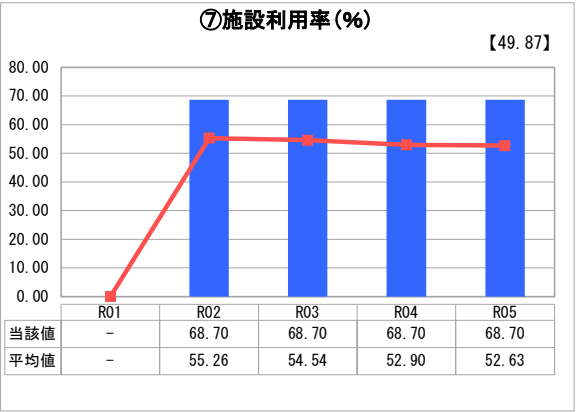
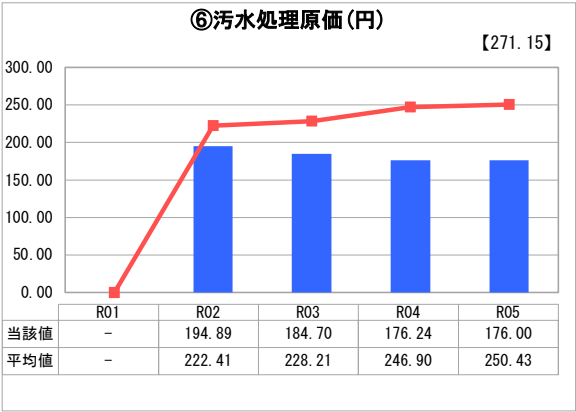
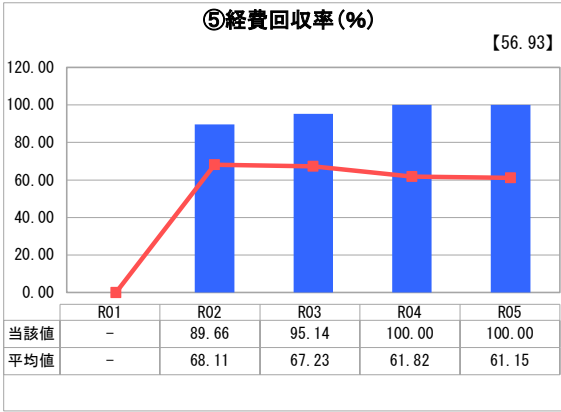
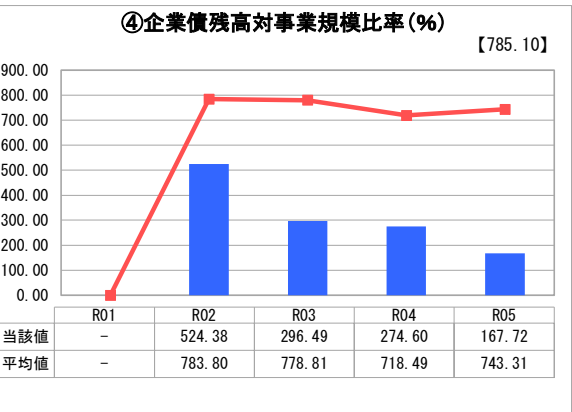
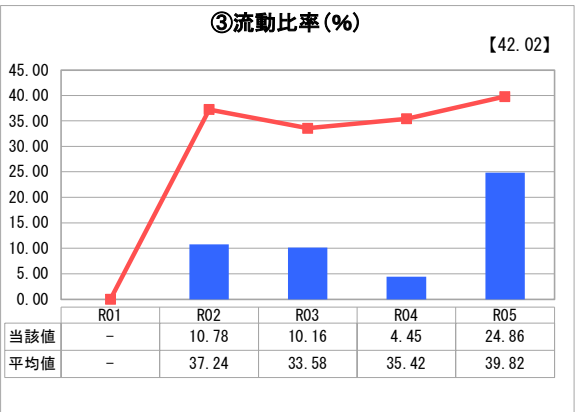
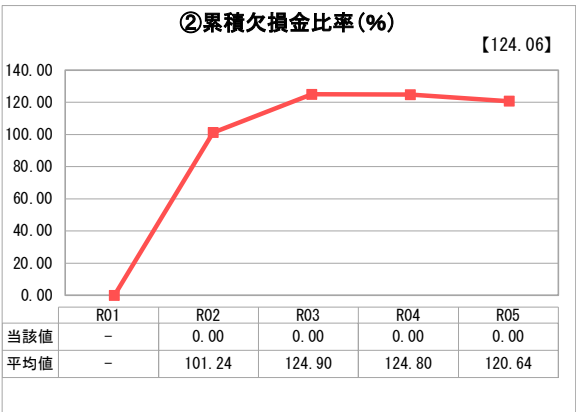
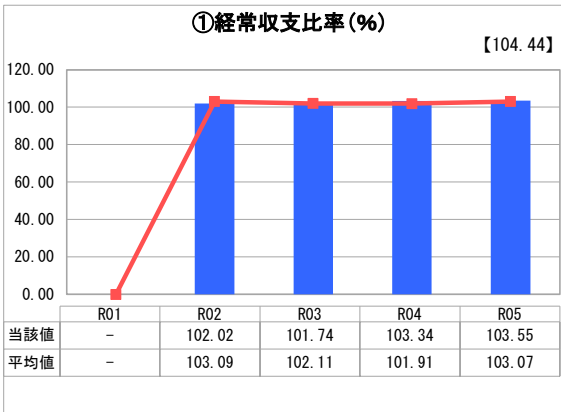
岩手県 北上市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	68.24	12.32	68.09	3,414

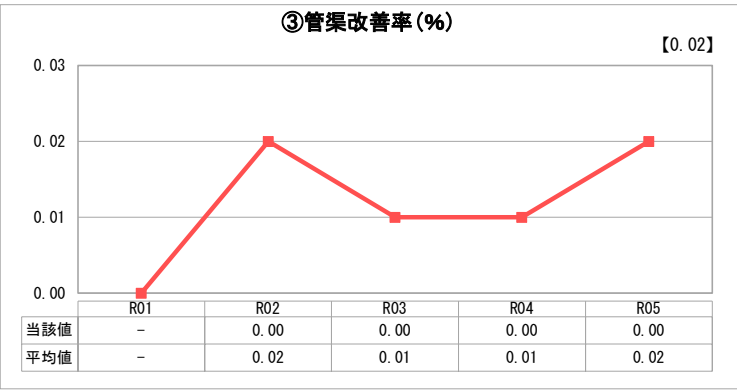
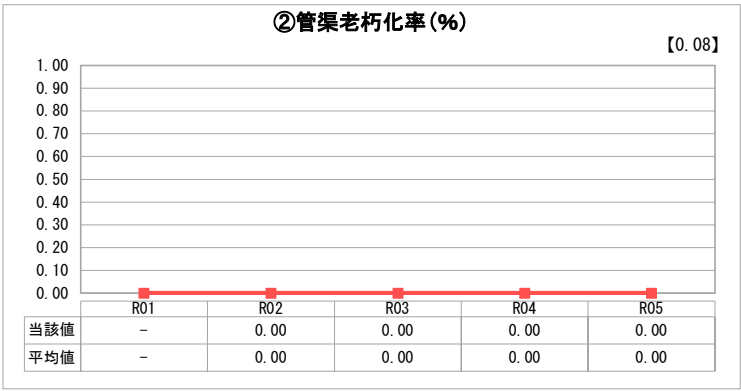
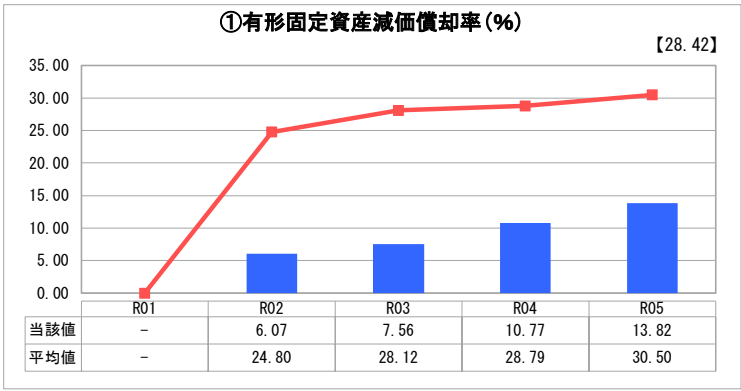
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
91,547	437.55	209.23
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
11,244	4.76	2,362.18

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

①指標は100%を超えているが使用料収入は経常収益の4分の1程度であり、一般会計からの補助金への依存度は公共下水道事業以上に高いと言える。

②累積欠損金は発生していないが、引き続き経営改善に取り組んでいく。

③令和5年度は企業債の償還財源として資本費準化債を借り入れたため指標は向上した。しかし後年度の負担増を伴うため、計画的な資金繰りに努める必要がある。

④類似団体と比べて低い状況にある。企業債償還額は今後減少を見込むが、引き続き計画的な投資に努めていく。

⑤汚水処理費用の減少により、令和4年度以降指標は100%を達成しており使用料で回収すべき費用は賄えていると考えられる。使用料収入の大幅な増加は見込めないことから、引き続き費用削減に取り組む必要がある。

⑥汚水処理費用の減少により指標は低下している。類似団体平均に比べて低い水準ではあるものの、今後も指標の改善に努めていく。

⑦横ばいであるが、公共下水道への接続を進めており、今後指標は変動していくと考えられる。人口減少を見据えながら施設のダウンサイジング等を検討していく。

⑧水洗化率は横ばいであるものの、処理区域内人口は今後大きく増加する見込みはないことから、同水準で推移すると考えられる。

2. 老朽化の状況について

①全国平均を下回っており、老朽度は比較的低水準にあるが計画的に機能強化事業を行い、老朽化施設の更新等を行いながら適切に維持管理を行っている。

②法定耐用年数を超えた管渠はないが、管渠の経過年数等を把握し、適切な点検・修繕等を含めた維持管理を行っていくことが必要である。

③法定耐用年数を超えた管渠がないことから、更新等は行っていないが、今後は管渠の経過年数等を考慮し、計画的に更新を行っていく必要がある。

全体総括

経費回収率は100%を達成しているものの、事業規模に対して使用料収入が非常に低く、一般会計からの補助金への依存度が高いことから維持費用や更新費用の削減が求められる。

平成30年度に策定した最適整備計画において12地区のうち7地区を公共下水道へ接続、5地区を存続する方針としている。令和6年度に1地区の接続工事が完了するため、今後は経営指標の動きをより注視しながら、経営戦略、投資・財政計画の進捗管理を行っていく。

状況に応じて接続時期の調整や、存続方針の5地区については浄化槽への転換検討なども想定しながら、持続的な経営を目指していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。